

<研究名称>

院内迅速対応チームが介入した死亡症例の実態調査

<実施責任者及び実施担当者>

看護師長 大塚 操

<研究期間>

倫理委員会承認後から 2024 年 10 月末日まで

<診療・研究の目的>

院内迅速対応システム（Rapid Response System：RRS）は、患者に対する有害事象を低減することを目的とし、迅速な対応を要するバイタルサインの重大な増悪を含む急激な病態悪化を覚知して対応するために策定された介入手段であり、本研究により、チームの活動やチームの介入を依頼する病棟スタッフに対し、バイタルサインだけではなく、病態など注意すべき患者背景を提示することができると思われる。また、院内迅速対応システムの要素であるスタッフ教育にも活用することができる

<実施内容（方法）>

1. 研究デザイン：後ろ向き調査研究
2. データの収集方法：1）患者の基礎データ年齢 性別 病名 科別 入院期間 既往歴 死因
2）チームの介入：介入回数 入院から介入までの日数 介入から死亡までの日数 要請理由 介入内容、介入終了の理由 追加事項
3）介入中の患者の状態：血圧、心拍数、呼吸回数、呼吸状態、SpO₂、酸素投与の有無、意識レベル、NEWS 以上を電子カルテと院内迅速対応チームのデータから収集
4. データの分析方法：
単純集計

<危険性（副作用）等>

特になし

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院 看護師長 大塚 操 TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648